

第27回公開セミナー「有機農業に転換するには何が必要か？」開催要領

趣 旨

オンライン方式 (Zoom) で公開セミナー開催します。

地球温暖化を抑止するための環境に配慮した農業生産の在り方を模索する方策のひとつとして、昨年7月、「みどりの食料システム戦略」が法制化されました。環境負荷の低減と生産性の向上という一見、相矛盾する課題への挑戦ですが、それを乗り越えるための意欲的な政策として高く評価できます。その中の重要施策として、2050年までに耕地面積に占める有機農業の割合を25% (100万ha) や化学農薬の5割削減、化学肥料の3割削減が挙げられています。この目標を実現するには、慣行農家が農薬、化学肥料の使用量を減らし、有機農業への転換を図る必要があります。この目標は農家だけの課題ではなく、国、自治体、JA、消費者など農家を取り巻く関係者がともに取り組むことが大切です。

そこで今回は、有機農業への転換の課題をテーマに、基調講演「有機農業への転換には何が必要か？」と事例報告を実施します。今までのやり方を変えるには、農家自身の決断が必要です。それを後押しするために必要な技術、販路と政策面での支援についてともに考えていきましょう。

これから有機農業への転換を考えている方、すでに実施している方にとっても、有益なセミナーです。

日 時	令和5年3月7日 (火) 13時30分から16時まで
会 場	有機農業参入促進協議会事務局を主会場としたオンラインセミナー
主 催	NPO 法人有機農業参入促進協議会
協 力	株式会社マルタ
参集範囲	農業者、試験研究者、普及員・行政担当者、JA など農業関連団体関係者 50名程度
参加費	個人 (家族、仲間の視聴可) : 5,000円 有機農業参入促進協議会会員 : 4,000円 パブリックビューイング会場 : 15,000円
主な内容	オンラインでの講演をもとに、講師、参加者間で意見交換。
参加申込	申込用紙に必要事項を記入の上、E-mailにて下記までお申し込みください。 NPO 法人有機農業参入促進協議会 担当：藤田正雄、石川 晃 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-5-12 偕楽ビル (新末広) 3階 株式会社マルタ内 TEL : 050-5362-1815 FAX : 050-3457-8516 E-mail:office@yuki-hajimeru.net

日 程

3月7日 (火)

受付	(13:00~13:30)
開会あいさつ 佐伯 昌彦 (NPO 法人有機農業参入促進協議会)	(13:30~13:40)
基調講演 「有機農業に転換するには何が必要か？」	
講師 谷口 吉光 (秋田県立大学、日本有機農業学会長)	(13:40~14:30)
(休憩)	(14:30~14:40)
事例発表 「有機農業への転換のメリットと課題 消費者目線での農業経営」	(14:40~15:10)
大塚 裕樹 (有限会社大塚ファーム)	
質疑応答	(15:10~15:50)
コメンテーター 佐伯 昌彦	
閉会あいさつ	(15:50~16:00)

※演題は仮題です。講師など内容は変更になる場合があります (文中敬称略)。

以 上